

# 一般質問

(2〜5ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は22人43件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

## 武蔵府中熊野神社古墳 検討委員会の内容は

### 古墳をどう復元するかが 最大の検討課題

松村 寿志議員 西府町の武蔵府中熊野神社古墳は、日本で、最大最古の上円下方墳で

あると聞く。また、新聞報道にもあったが、この古墳で、被葬者の副葬品として銀象嵌の入った鞆尻金具という太刀の一部が見つかったことなどから、国内でも大変貴重な古墳であることが分かった。そこで、この古墳の保存、整備、活用に当たり、市民を含めた検討委員会を立ち上げると聞くが、内容とメンバーについて聞きたい。

生涯学習部長 内容は、古墳をどのような形で復元するか、最大の検討課題である。また、由来や規模等を紹介する案内施設の設置等及び整備後の保存管理計画の策定等である。



▲武蔵府中熊野神社古墳

メンバーは、現在の調査検討委員会の5人と熊野神社、同神社関係者、地元自治会など、市民代表を含め10人ほどを考えている。

他 町名変更について

## 府中消防署 建替え計画は

### 都の平成17年度予算には 進展があると思う

比留間 利蔵議員 新潟県中越地震をはじめ、日本の各地で地震や大雨による災害が起きている。

本市においても、更に防災対策を強化することが重要と考える。

また、平成17年は、阪神淡路大震災から10年、関東大震災

災からは80年余を迎える。

このような中、消防行政の要である府中消防署は、建築してから35年が経過している

と聞く。そこで、今後、府中消防署を建て替える計画があるか聞

きたい。

環境安全部長 消防署の建替

## 多摩川河川敷のグラウンド 雨水対策に側溝新設の考えは

### 国と協議し 検討していきたい

林 辰男議員 多摩川河川敷の住吉野球場、是政野球場及びサッカー場等は、平成15年度には、延べ約6万3千人が利用していると聞く。

このように多くの市民がグラウンドを使用している。しかし、雨が降るとグラウンドに水溜りができ、また、堤防からの水が流れ込んでしまい、数日にわたり、使用できなくなる。青少年の健全育成のためにもスポーツは必要であり、改修すべきと考える。そこで、堤防からの水は、グラウンド手前に側溝を掘ると処理できると思うがどうか。

生涯学習部長 河川敷のグラウンドは、毎年、台風時に被害にあっているが、その都度必要な整備をし、できるだけ利用者に不便をかけないように

## 平成17年度の 予算編成方針は

### 義務的経費等を除く 経常的経費は2%削減を目標

高野 律雄議員 市制施行50周年事業年度の終了をあと少しで迎える今、言い換えるならば新たな一歩を踏み出そうとするこのときに、次の5年を中期的にどう展望し、事業を推進していくかを再度考えるべきと思う。

そこで、平成17年度の予算編成方針を聞きたい。

また、市は、今後の景気の動向や市税の見直しをどう認識しているか。

財務部長 方針では、新規事業等は既存事業の見直しで対応し、義務的経費等を除く施設管理等の経常的経費は2%削減を目標としており、財源不足は基金の活用等で対応するとしている。また、生活文化部と福祉保健部は、配分された一般会計で予算編成をすすめる枠配分方式を試行している。

景気の先行きは、国内民間需要が着実に増加していることから回復が続くと見込んでおり、市税の今後の見込みは若干の増収と予測している。

えについては、従前より、東京消防庁に対し、要望してきたところである。都としても、新潟県中越地震の関連から、施設対策には、しっかりと取り組むとのこと、17年度予算には、何らかの形で進展が見られるものと思っている。

## 下水道施設のリニューアル 開始時期は

### 本格的に実施するのは 平成36年以降と予測している

宮本 武蔵議員 新潟県中越地震の災害復旧の報道で、下水道の被害状況の把握が遅れ、いち早く復旧した水道が使用できず、市民生活に支障を来

しているとの記事があった。排水の構造的なことも含め、今後とも国と協議し、検討していきたい。

本格的な再構築を開始する時期については、平成36年以降になるものと予測している。その事業費は、1000億円以上、期間は、建設に要した年数の15倍の30年になるものと考えている。

宮本 武蔵議員 新潟県中越地震の災害復旧の報道で、下水道の被害状況の把握が遅れ、いち早く復旧した水道が使用できず、市民生活に支障を来

しているとの記事があった。排水の構造的なことも含め、今後とも国と協議し、検討していきたい。

本格的な再構築を開始する時期については、平成36年以降になるものと予測している。その事業費は、1000億円以上、期間は、建設に要した年数の15倍の30年になるものと考えている。



▲下水管の工事

## 認知症高齢者グループホーム設置指針 その内容は

村木 茂議員 認知症(痴ほう)の高齢者を介護する家族の負担を少しでも軽くするため、

家庭的な環境下で日常生活支援を受けながら生活する、グループホームが注目されている。

村木 茂議員 認知症(痴ほう)の高齢者を介護する家族の負担を少しでも軽くするため、

家庭的な環境下で日常生活支援を受けながら生活する、グループホームが注目されている。

市では、認知症高齢者グループホーム設置指針を設けたと聞くが、その詳細を

聞きたい。

福祉保健部長 同グループホームは、福祉関係以外の異種からの参入もあり、利用者や家族が願う運営がされていないとの批判があったため、市内に設置する場合は、本市との十分な協議を義務付けた

設置指針を設けた。

主な内容は、部屋の配置、入居者負担の考え方や入居・退去の条件及び退去後の支援等について、事業主体の法人から考え方や具体的な取組方法を提示してもらうこととしている。

他 ペDESTリアンデッキ府中スカイナードについて  
ペDESTリアンデッキ…歩行者用人工地盤

